



ゆうメール

あなたの暮らしを彩る生活情報紙
Safety Family セイフティ・ファミリー

2022年 新年号 愛知県版 (愛知県労働者共済生活協同組合)



公式キャラクター
ビットくん

未来へつなぐ「たすけあい」

私たちこくみん共済coopは共済を通じて「たすけあいの輪」をむすび、豊かで安心できる社会づくりを進めています。

共済は、自分の「もしも」だけではなく、誰かの「もしも」にも役立つ「たすけあい」のしくみ。さらに私たちは、「もしも」を予防し、「もしも」が起こってしまっても速やかに生活を再建する、そんな取り組みも行っています。

こくみん共済coop SDGs 行動宣言

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり

こくみん共済coopは、創立以来、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を進めてきました。これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDGsに通じるものです。格差の拡大や大規模自然災害の増加、新型コロナウイルスによる感染拡大など、取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、たすけあいの輪をむすぶ私たちの役割と期待をあらためて認識し、SDGsの達成に貢献します。

① 共済を通じた安心の提供

より良い共済・サービスの提供と、一人一人に応じた生活保障設計を通じて、組合員と家族の安心を提供します。



② 環境保全の取り組み

気候変動を抑制し、豊かな環境を守るため、省資源・省エネルギーに取り組みます。また、環境保護への支援を強化します。



③ 子どもの健全育成の取り組み

子育て支援、交通事故抑制、健康増進の取り組みにより、貧困の連鎖に歯止めをかけ、子どもの健全な育成を進めます。



④ 防災・減災の取り組み

台風や地震など大規模災害の発生から、組合員を守るため、防災・減災の普及と社会インフラづくりを進めます。



⑤ 共創による社会づくり

人々が暮らし働く地域社会に根ざし、たすけあいの輪をむすび、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。



⑥ 魅力ある組織づくり

環境変化に積極的に挑戦し、あたらしい協同の仕組みを創造する魅力ある組織づくりを進めます。



社会活動の取り組み (2020年度)

防災・減災活動

ぼうさいカフェの開催
 これからの防災・減災プロジェクト



子どもの健全育成活動

7才の交通安全プロジェクト
 こどもの成長応援プロジェクト



→ 詳しくは2ページで紹介しています。

環境保全活動

「社会貢献付 エコ住宅専用
 住まいる共済」による寄付



他にも全国各地でさまざまな活動に
 取り組んでいます。

2021年版 社会活動レポート

詳しくは
 こちらから



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

生命保障

保障にかかるコストを考えよう

皆さまのご家庭では、1年間に合計でどのくらいの掛金を支払っていますか？今回は、生命保障を例に保障にかかるコストについて考えてみましょう。



関口 輝●プロフィール
せきぐち あきら
AFPファイナンシャル・プランナー
生活経済研究所長野 事務局長
企業・公共機関主催の講演・個別相談を数多く経験後、活動の中心を非営利活動団体(労働組合・関連団体)へシフト。日本経済新聞、プレジデント、日経マネーDIGITAL等の媒体で執筆多数。

どのくらいのお金を支払っているのか

世帯の年間払込保険料は平均37.1万円※1です。毎月の支払いに換算すれば約3.1万円ですので、妥当な金額に感じる人がほとんどでしょう。

一方で、「日本人は生涯で生命保障に1,373万円を支払っている」といわれたらどうでしょうか。今度は、そんな大金を使う人がいるのか、と驚かれるかもしれません。保障にかかるコストを考える時は、毎月の掛金が妥当かどうかだけでなく、一生でいくら払うのか、掛金の総額を考える必要があります。印象は大きく異なりますが、例えば23歳から60歳まで37年間に限定したとしても、毎月約3.1万円の掛金を支払い続けられれば、総額で1,373万円になる計算だからです。

※1 出典:生命保険文化センター(2021年9月)

保障にかかるコストを下げるには

①加入期間に無駄がないかどうかをチェックします。生命保障の大半は期間を限定して備えれば良いもので、その典型がお子さまの養育費を目的に世帯主が加入する死亡保障です。必要以上に長期間加入しないように注意しましょう。

また、リスクに対し全額を生命保障で備える必要もありません。まずは、公的保障や勤務先からの給付(企業内保障)を考慮した②必要保障額を算出し無駄のない保障額で加入しましょう。

家族構成の多様化における賢い保障の掛け方

いまの日本は、かつて標準世帯といわれた「夫婦と子世帯」が減少し、「夫婦のみ世帯」や「単独世帯」が増加するなど、家族構成の多様化が急速に進んでいます。生命保障も、従来の一般的な

商品では個別のニーズを満たしにくいと感じる世帯が多いでしょう。

そこで、世帯別の加入例として、こくみん共済とせいめい共済を組み合わせさせて3つのプランを作ってみました。これをたたき台としてアレンジし、自分にぴったりの保障を考えてみましょう。

①単独世帯向けプラン

医療保障を中心に、死亡保障として葬儀代に備えるプランです。ベースの保障として備えておき、今後の状況変化に応じて必要な保障をプラスしていくとよいでしょう。掛金は月額2,050円(年額24,600円)です。

	死亡	入院
交通事故	625万円	日額7,500円
不慮の事故	425万円	日額6,500円
病気	225万円	日額6,000円

療養	
手術	30,000円
放射線治療	30,000円
先進医療(最高)	500万円

月掛金 2,050円

こくみん共済 総合保障タイプ 医療保障タイプ

②共働き世帯向けプラン (お子さま2人を想定)

ご夫婦は医療保障をメインにがんにも備える一方で、死亡保障は最小限にします。2人のお子さまはけがにも手厚いこども保障タイプ。また、ご家族全員が個人賠償で守られます。掛金は月額7,700円(年額92,400円)です。

子ども	おとな
入院 日額 10,000円	入院 日額 5,000円
通院(けが)日額 2,000円	入院(がん)日額 10,000円
骨折・脱臼 50,000円	がん診断 100万円
子ども相談室(専用ホームページ)	手術(がん) 28万円
全員	放射線治療(がん) 28万円
個人賠償 最高3億円	先進医療(最高) 500万円
	死亡 350,000円

月掛金 7,700円

こくみん共済 医療保障タイプ がん保障プラス 個人賠償プラス
医療保障タイプ がん保障プラス
こども保障タイプ こども保障タイプ

③専業主婦(夫)世帯向けプラン (お子さま1人を想定)

ご夫婦の医療保障とお子さまの保障は②と同じですが、世帯主は子どもの養育費として1,000万円の死亡保障を準備します。掛金は月額7,800円(年額93,600円・世帯主が男性・30歳の場合)です。

子ども	おとな
入院 日額 10,000円	入院 日額 5,000円
通院(けが)日額 2,000円	入院(がん)日額 10,000円
骨折・脱臼 50,000円	がん診断 100万円
子ども相談室(専用ホームページ)	手術(がん) 28万円
全員	放射線治療(がん) 28万円
個人賠償 最高3億円	先進医療(最高) 500万円

死亡 世帯主	10,350,000円(5年更新)
配偶者	350,000円

月掛金 7,800円(男性・30歳)

こくみん共済

医療保障タイプ がん保障プラス 個人賠償プラス
医療保障タイプ がん保障プラス
こども保障タイプ

せいめい共済 定期 生命プラン

世帯全体の年間掛金は、①2.46万円、②9.24万円、③9.36万円(世帯主が男性・30歳の場合)となり、いずれのプランも世帯平均の37.1万円を下回っています。この水準であれば、生涯に支払う生命保障にかかるコストを引き下げることができます。

見直しなら共済ショップへ

3つのプランと比べると、現在の保障に見直しの余地がありそうだと感じた人は、最寄りの共済ショップで相談してみましょう。すでにこくみん共済に加入している人も、保障に過不足が生じていないか、新しいタイプに切り替えるメリットがないかなどを、定期的にチェックしてもらう場として共済ショップが活用できます。

生命保障だけでなく、自動車の補償や住まいの保障(火災共済・自然災害共済)も併せて見直せば、生涯で支払う保障全体にかかるコストを削減できるかもしれません。